

# KVK 壁付サーモスタット式シャワー 取扱説明書

## KF680(W)SG 〈各仕様共通〉

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- この取扱説明書はKF680SG仕様のイラストで説明しています。

### 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

- この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です
- この絵表示は、「分解禁止」の内容です
- この絵表示は、「接触禁止」の内容です
- この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

**やけど、漏水をした場合の措置** やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。漏水した場合は元栓、または止水栓を開めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。

<p><b>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</b></p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>加工及び接合等の改造はしないでください。</b></p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>小さいお子様だけの使用は避けてください。</b></p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
<p><b>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</b></p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p><b>湯側ソケットは給湯側の為、高温になっています。高温部に直接肌を触れないようにしてください。</b></p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p><b>高温の湯をお使いのときは器具の左側および湯側ソケットは高温になっています。直接肌を触れないでください。</b></p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
<p><b>湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。</b></p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。</p>	<p><b>お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを吐水切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。</b></p> <p>吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。</p>	<p><b>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。</b></p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>

<p><b>警告</b></p> <p>高温の湯をお使いの後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻しておいてください。</p> <p>次に使用する時、いきなり高温の湯を出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してから止水してください。</p> <p>次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。</p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
<p><b>注意</b></p> <p>ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。</p> <p>ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>シャワーには60℃以上のお湯を温水させないでください。</p> <p>温水させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。</p>	<p><b>寒冷地仕様の場合</b></p> <p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>警告</b></p> <p>器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。</p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶつけたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため、解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p><b>注意</b></p> <p>めっきの表面が割れた場合は使用しないでください。</p> <p>けがをするおそれがありますので、ただちに使用を停止し、新しい部品に交換してください。</p>	<p>吐水切替ハンドル操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p>ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールをご確認ください。シールの左下が品番です。(シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください)

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

**技術料**…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用

**部品代**…修理に使用した部品代

**出張料**…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

KVK修理受付センター TEL 0120-474-161

上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。携帯電話からは058-234-8946をご利用ください。

受付時間/平日 9:00~18:30 土・日・祝日 9:00~17:00

**株式会社 KVK**

本社・工場/〒501-1195岐阜市黒野308/TEL058-239-3111 代表

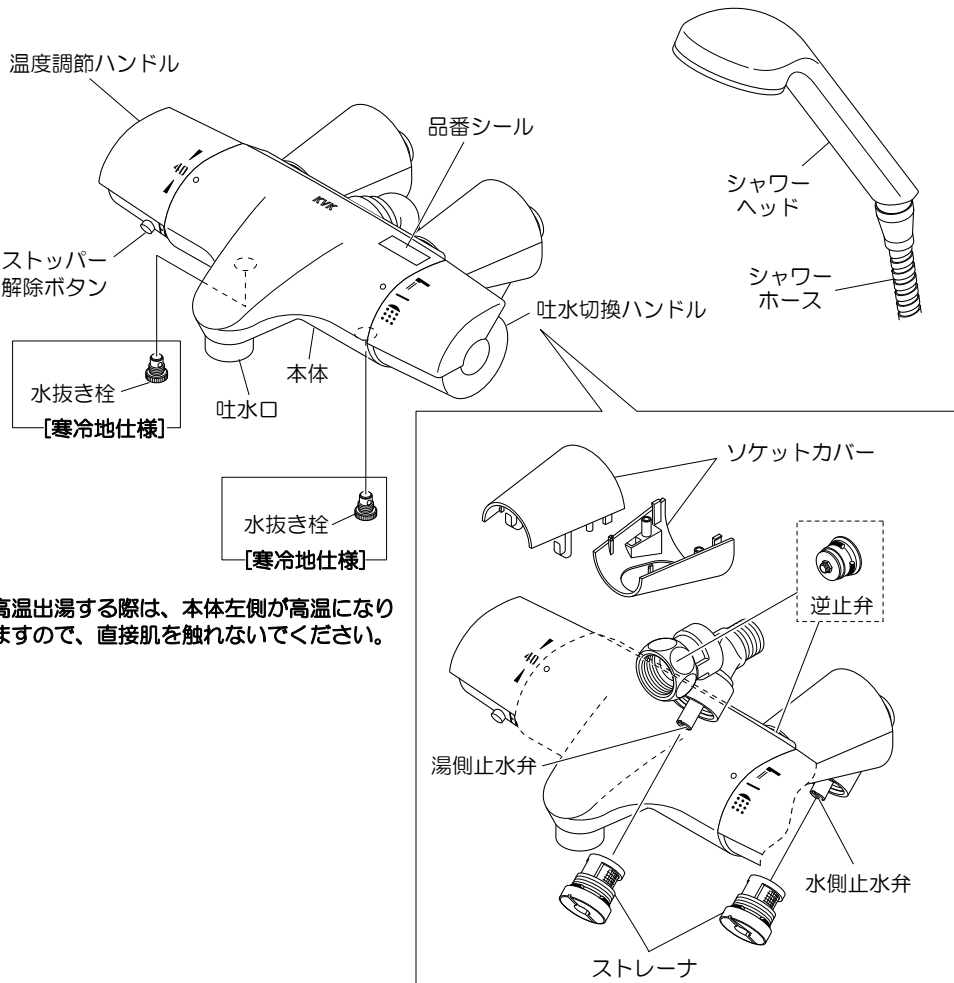
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

## ご使用前に / ご使用方法

### 給湯器の使用上のご注意

- ・給湯器の給湯温度は、50℃~60℃に設定することをおすすめします。(給湯温度が低いと必要とする吐水温度[適温約40℃]が得られないことがあります。)
- ・吐水切替ハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- ・吐水切替ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は吐水切替ハンドルで調節を行ってください)
- ・給水圧力が低い時や水温が高い時は、給湯器が着火しにくくなる場合があります。その場合は給湯器の設定温度を少し下げてください。(瞬間型の場合)

### 各部の名称

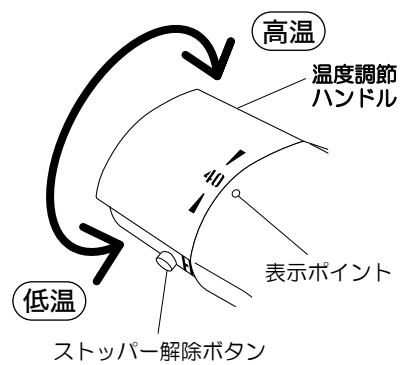


※ 高温湯出の際は、本体左側が高温になりますので、直接肌を触れないでください。

### 温度調節方法

温度調節ハンドルの目盛を表示ポイントに合わせます。目盛「40」を目安にしてください。高温に回しますと、目盛「40」を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。(温度: 約42~45℃) それ以上の高温を出すときは、ストッパー解除ボタンを押しながら回してください。使用後は目盛「40」以下に戻してください。

※目盛は、温度表示ではありません。目盛は、温度調節の目安としてください。



### 吐水切替方法

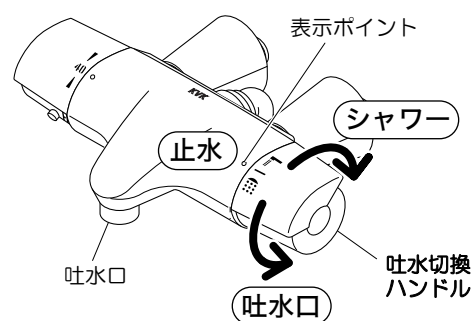
- 吐水口** 吐水切替ハンドルを下へ回して、表示ポイントに「**■**」を合わせると吐水口から湯水が出ます。下いっぱいまで最大流量になります。
- シャワー** 吐水切替ハンドルを上へ回して、表示ポイントに「**☼**」を合わせるとシャワーから湯水が出ます。上いっぱいまで最大流量になります。
- 止水** ハンドルの「**一**」を表示ポイントに合わせると止水します。

**【警告】** 湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

**【注意】** 吐水切替ハンドルはゆっくり操作してください。急な操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**【通水音大きい場合】** 吐水切替ハンドルを使用する際に通水音大きい場合は、湯水の止水弁をしぼって吐水切替ハンドルを全開にして使用してください。(流量の調節方法 参照)

**【止水直後の水滴について】** シャワーを止めた直後、シャワーヘッドから水滴が落ちることがありますが、これはシャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。シャワー止水後は、シャワーヘッドを振って水を切ってください。



**【注意】** シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。

